

「総合的な探究の時間」のモデルプログラムⅡ  
～課題意識を徐々に深めるモデルプログラム～

各学年 1 単位を配置

○ねらい：論理的思考力や批判的なものの見方・考え方を身に付けるとともに、自ら課題を見付け解決する課題探究活動を通して、主体的に学ぶ態度を育成する。

○概要：【第1学年】小論文指導及び課題の設定  
【第2学年】第1学年で設定した課題に対する探究活動  
【第3学年】自己の未来に向けて、今後取り組むべき課題の設定

月	第1学年	第2学年	第3学年	教育課程外	備考
4	オリエンテーション 1H	課題探究活動① 12H	自分の将来を想像し、今後取り組むべき課題の設定 2H		第2学年の課題探究活動を行うグループに対する担当教諭の割り振り
5	小論文指導（要約・批評文の作成と交流） 15H	研究経過報告①（担当教諭へ取組の状況を説明） 1H	課題探究活動③ 10H		
6	小論文指導を通して身に付けた論理的思考力や批判的なものの見方・考え方を生かして課題を設定する。	研究経過報告②（担当教諭へ取組の状況を説明） 1H	課題研究のレポート作成 5H		
7	第2学年の報告会に参加することにより今後の活動の見直しをもたせる。	課題研究の中間報告に向けたレポートの作成 6H	第1学年及び第2学年の活動に対するアドバイザーとしての支援活動 18H		
8	実生活、実社会の中から自由に課題を設定する。自由研究を行うことにより生徒の主体的な活動を促し、第2学年の探究活動につなげる。	課題研究の中間報告会 2H			
9		課題探究活動②及び課題研究レポートの作成 10H			
10		研究経過報告③（担当教諭へ取組の状況を説明） 1H			
11		課題研究発表会 2H			
12					
1					
2					
3					

※ 1H：授業の時間数のこと。例えば、1Hであれば50分を1単位時間とした授業時数の1時間分のこと。